

フナコシの免疫染色カタログ史上「一番分かりやすい!」を目指しました 免疫染色実験ガイド

A4 サイズ, 116 ページ, 日本語



カタログ前半

技術章



これから免疫染色を始める方にもオススメ

免疫染色の流れや各工程のプロトコルを
たくさんの図説で分かりやすくご紹介しています。

すでに免疫染色を行っている方にもオススメ

カタログ後半

製品章



人気製品・オススメ製品をご紹介します。
図表を多数追加して前回のカタログ (2019年発刊) からパワーアップ!

カタログの中身をチラ見せ

技術章 p.18 IHC プロトコル (ブロッキング～発色)

組織切片の親水化、抗原の賦活化 (必要に応じて)、撥水性サークル作製が完了したスライド

PO/AP 活性のブロッキング

1 BLOXALL® Blocking Solution を滴下する。(切片を覆うようにする)
10分間インキュベーションする。

2 Wash Buffer にスライドを5分間浸す。

3 Normal Horse Serum を滴下する。(切片を覆うようにする)
20分間インキュベーションする。

スライド上から溶液を除去

ペーパータオルの上でスライドを軽く打ち付けて、溶液を除去する。

ブロッキング処理

スライド上から溶液を除去

7 1 槽目の Wash Buffer にスライドを5分間浸す。
この操作を次の槽でも行う。

5分間 5分間

ImmPACT® DAB EqV Working Solution (基質溶液) の調製

ImmPACT® DAB EqV Reagent 1 と ImmPACT® DAB EqV Reagent 2 を 1 : 1 の容量で取る (使用量に応じて調節する)。

ボルテックスして十分混合する。

※基質溶液は、使用前に調製して下さい。

たくさんの図説で分かりやすい!
免疫染色の操作の流れが分かる!

カタログ冊子・デジタルブックのお申し込みはこちら

※フナコシWebからのお申し込みにはフナコシWeb会員登録 (ログイン) が必要です。

Web ページ番号

67000

